

## 製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名 corega FSW-24D

シリアル番号  
(S/N)

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先  
corega サポートセンター

TEL：045-476-6268 FAX：045-476-6294

住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20

受け付け時間：10:00～12:00/13:00～17:00

月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。  
製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

### ■製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3/IEEE 802.3u/IEEE 802.3x
スイッチング方式	
	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90～255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.6A
平均消費電力	27W(最大30W)
平均発熱量	24kcal/h(最大26kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20～60
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0～40
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法（突起部含まず）	
	432(W)×250(D)×44(H)mm
重量	
	2.9kg(電源ケーブル含まず)
MACアドレスエントリー数	
	8,000個
アドレス保持時間	
	300秒
メモリ容量	
	1.5M bytes
適用規格	
EMI規格	VCCI クラスA

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



## 安全のために

必ずお守りください



### 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない  
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない  
火災や感電の原因となります。本製品はAC100～240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する  
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピンコンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

通風口はふさがない  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ  
油煙や湯気のあたる場所  
には置かない  
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く  
感電の原因となります。



プラグを抜く

電源ケーブルを傷つけない  
火災や感電の原因となります。電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：  
・加工しない、傷つけない。  
・重いものを載せない。  
・熱器具に近づけない、加熱しない。  
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

### ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)

- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



取り扱いにはていねいに  
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



### お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で  
誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

- ・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類禁止

corega®

## FSW-24D

24 Port 100M/10M Switching HUB

## 取扱説明書

この度は、corega FSW-24Dをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は、10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーションポートを24ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。  
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

### ■特長

8,000個のMACアドレステーブルをサポート  
オートネゴシエーション機能をサポート  
プッシュスイッチにより、ポートごとにAuto/100M Full/100M Half/10M Full/10M Halfの手动設定が可能  
DIPスイッチにより、フローコントロール(バックプレッシャ機能) ON/OFFを設定可能  
Duplex時=IEEE 802.3xのON/OFFが設定可能  
プッシュスイッチにより切替可能なカスケードポートを装備  
信頼性の高いストア&フォワードのスイッチング方式  
AC電源ユニットを内蔵  
ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備

### ■梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

corega FSW-24D 本体  
電源ケーブル(AC100V～120V用)  
19インチ・ラックマウントキット  
(ブラケット2個、M3×8mmネジ4個、ハンドル2個、M3×8mmネジ4個)  
調査依頼書  
シリアル番号シール  
取扱説明書(本書は製品保証書もかねております)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

### ■各部の名称と機能

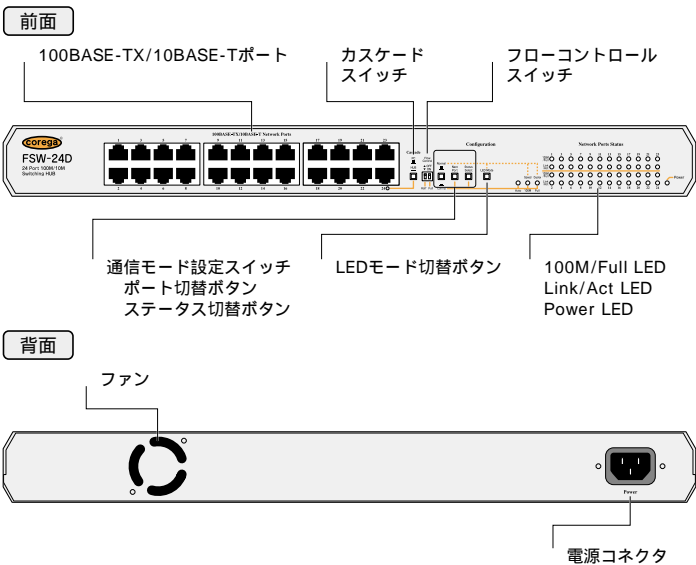


図1 外観図

100BASE-TX/10BASE-Tポート  
10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。

カスケードスイッチ  
カスケードポート(ポート24)を、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。

HUB (スイッチが押し込まれた状態)  
カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。

PC (スイッチが飛び出している状態)  
通常の10BASE-T/100BASE-TXポート(MDI-X)として使用します。

フローコントロールスイッチ  
フローコントロールON/OFFを設定するためのスイッチです。  
フローコントロールとは、受信側の転送速度が送信側の転送速度よりも遅い場合や、受信パケットが特定のポートに集中する場合に、パッファオーバーフローによってパケットロスが生じることを未然に防ぐための機能です。  
Half Duplex時のフローコントロール(バックプレッシャ機能) ON/OFFを設定する「Half」(左側)と、Full Duplex時のフローコントロール(IEEE 802.3x) ON/OFFを設定する「Full」(右側)の2つのスイッチがあります。  
出荷時設定はどちらも「OFF」(上側)です。

フローコントロールスイッチON/OFFを設定すると、本体は自動的にリセットされ、フローコントロールスイッチの設定内容が有効となります。

Half(左側)  
Half Duplex時のフローコントロール(バックプレッシャ機能) ON/OFFを設定します。「ON」(下側)にすると、フローコントロールがONになります。  
常にバッファメモリを監視し、空きが減少してくると、送信側のポートに対して架空のコリジョン信号を送出します。  
「OFF」(上側)にすると、フローコントロールがOFFになります。

Full(右側)  
Full Duplex時のフローコントロール(IEEE 802.3x) ON/OFFを設定します。「ON」(下側)にすると、フローコントロールがONになります。  
常にバッファメモリを監視し、空きが減少してくると、送信側のポートに対してPauseパケットを送出します。  
「OFF」(上側)にすると、フローコントロールがOFFになります。

Full Duplex時のフローコントロールは、本製品の通信モードがAuto(オートネゴシエーション)で、かつ接続先の機器もフローコントロール(IEEE 802.3x)をサポートしている場合に機能します。

通信モード設定スイッチ  
ポートの通信モード(Auto/100M Full/100M Half/10M Full/10M Half)を設定するためのスイッチです。  
出荷時設定は「Normal」(スイッチが飛び出している状態)です。  
(通信モードの出荷時設定は全ポート「Auto」です。)

Normal (スイッチが飛び出している状態)  
ポートの通信モードが設定されていて、その通信モードで通信ができる状態です。この状態のときにLEDモード切替ボタンを使用して、100M/Full LEDの表示内容を切り替えることができます。

Config (スイッチが押し込まれた状態)  
ポートの通信モードを設定するための状態です。この状態のときにポート切替ボタンとステータス切替ボタンを使用して、各ポートごとに通信モードを設定することができます。

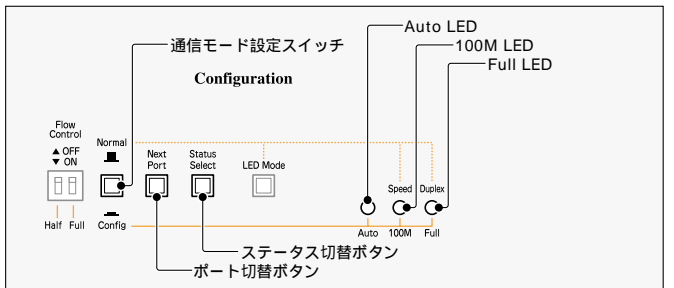


図2 ポート切替ボタン / ステータス切替ボタン(拡大図)

ポート切替ボタン  
ポートを選択するためのボタンです。  
通信モード設定スイッチを「Config」に設定すると、ポート1が選択されます。ボタンを押すごとに、選択されるポートが次のポートへと移動します。  
最終ポート(ポート24)まで移動すると、再びポート1へ戻ります。  
選択されているポートは、100M/Full LEDの点滅によって表示されます。

ステータス切替ボタン  
通信モードのステータスを選択するためのボタンです。  
出荷時設定は全ポートに「Auto」(オートネゴシエーション)が選択されていて、ボタンを押すごとにステータスが切り替わります。  
選択されているステータスは、Auto/100M/Full LED(緑)の点灯によって表示されます。ステータスの設定は、ポート切替ボタンで次のポートへ移動することによって有効となります。



